

| コード         | 名称                | 区分    | コード       | 名称                     |
|-------------|-------------------|-------|-----------|------------------------|
| 事業名         | 88 地域交通対策事業       | 会計    | 01        | 一般会計                   |
|             |                   | 款     | 02        | 総務費                    |
|             |                   | 項     | 01        | 総務管理費                  |
| 基本<br>施策    | 51 市内交通機関の利便性を高める | 目     | 06        | 企画費                    |
|             |                   | 細目    | 125       | バス等対策事業経費              |
|             |                   | 細々目   | 53        | 地域交通対策事業               |
| 行革大綱の重点事項番号 |                   |       |           |                        |
| 担当部課        | コード               | 11300 | 担当者<br>氏名 | 植田充芳                   |
|             | 名称                | 企画課   | 連絡先       | 22 - 9621<br>(内線) 2116 |

事務事業の概要(Plan)

|                 |   |       |
|-----------------|---|-------|
| 対象(誰を、何を)       | 公共交通利用不便地区における移動手段の確保   | ※対象件数 |
| 成果(どうする)        | 伊賀市交通計画に基づき、住民と行政が支えあう形で、公共交通利用不便地区の解消を図る。                                |       |
| 根拠法令・要綱等        |   |       |
| 開始年度            | 平成 21 年度  | 関連事業  |
| 終了年度            | 平成 年度   |       |
| H22<br>事業<br>内容 | 市が市町村運営有償運送の許可を取得し、公共交通利用不便地区である比叡地区において運行するコスモス号の運行を比叡コスモス号運行連絡協議会に委託した。 |       |
| 社会情勢<br>の変化等    | 国土交通大臣の許可を得て道路運送法第79条バスとして平成21年4月から運行開始                                   |       |

整備内容(「施設の新設」「整備事業」のみ記入)

|                  |    |
|------------------|----|
| 1 建設用地           |    |
| 2 建設面積<br>(延床面積) |    |
| 3 規模・構造          |    |
| 4 総事業費           | 千円 |

運営体制(「施設の新設」「施設の管理・運営」のみ記入)

|               |    |
|---------------|----|
| 1 運営主体        |    |
| 委託先           |    |
| 2 配置人員        | 人  |
| 3 年間運営費       | 千円 |
| 4 市内の<br>類似施設 |    |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動<br>指標   | 指標名 | 単位 | 実績値 |     | 目標値 |     |
|------------|-----|----|-----|-----|-----|-----|
|            |     |    | H21 | H22 | H23 | H24 |
| 一日あたりの運行便数 | 便   |    | 目標  | 12  | 目標  | 12  |
|            |     |    | 実績  | 12  | 実績  | 12  |
|            |     |    | 目標  |     | 目標  |     |
|            |     |    | 実績  |     | 実績  |     |

| 成果<br>指標 | 指標名    | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 |      | 目標値 |      |
|----------|--------|----------|----|-----|------|-----|------|
|          |        |          |    | H21 | H22  | H23 | H24  |
| 年間利用者数   | 需要があるか |          | 人  | 目標  | 2300 | 目標  | 1800 |
|          |        |          |    | 実績  | 1629 | 実績  | 1799 |
|          |        |          |    | 目標  |      | 目標  |      |
|          |        |          |    | 実績  |      | 実績  |      |

| 投入<br>コスト                  | 直接事業費計(A) | H21 決算 | H22 決算 | H23 当初予算 | H24 当初要求 |
|----------------------------|-----------|--------|--------|----------|----------|
|                            |           | (千円)   | (千円)   | (千円)     | (千円)     |
| A<br>の<br>財<br>源<br>内<br>訳 | 国庫支出金     | 5,373  | 1,907  | 2,000    | 2,000    |
|                            | 県支出金      | 264    | 515    | 380      | 500      |
|                            | 地方債       |        |        |          |          |
|                            | その他       | 0      | 356    | 450      | 450      |
|                            | 一般財源      | 5,109  | 1,036  | 1,170    | 1,050    |
| 事業投入人件費(B)                 |           | 0.1人   | 1,008  | 0.1人     | 1,008    |
| フルコスト(A)+(B)               |           | 6,381  | 2,915  | 3,008    | 3,008    |

事務事業の評価(Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください) |   | 備考欄(特記事項)    |
|-----------------------|---|--------------|
| 必<br>要<br>性           | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業  |              |
|                       | 個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業         |              |
|                       | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業                      |              |
|                       | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業   |              |
|                       | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 | ○            |
|                       | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業   |              |
|                       | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業   |              |
|                       | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業             |              |
|                       | 民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業                           | ○            |
|                       | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業  |              |
| 有<br>効<br>性           | 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業   |              |
|                       | 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】   | ○            |
|                       | 地域が支えるバス運行方式のモデルであり、一定の利用を確保している。   |              |
|                       | 財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業  |              |
|                       | 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】   | ○            |
|                       | コスモス号の運行が困難になり、交通空白地域を生むことになる。  |              |
|                       | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。                                       | ○            |
|                       | 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高                             |              |
|                       | サービス水準や対象を見直す余地がある。   |              |
|                       | 当初設定した計画を   | 100% 実施している。 |
| 効<br>率<br>性           | 予算の繰越の有無  | 無            |
|                       | 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】  |              |
|                       | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。   |              |
|                       | 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。  |              |
|                       | 【事業名】   |              |
|                       | 受益者負担を求めることができる事業である。   | ○            |
|                       | 全体コストにおける負担構成は適正である。  | ○            |
|                       | コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。                                |              |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

|          |  |
|----------|--|
| 改善策      | 5年以内を目標に、運行主体を現在の市の業務委託方式から、NPOや地縁団体など法人格のある主体が自主運行し、市がそれに対し支援する形に移行することを提案する。                           |
| 昨年度の取組状況 | 【状況】 計画のとおり進んでいない<br>【詳細】 NPOや地縁団体等が自主運行しやすく、道路運送法の一部改正によりNPOや地縁団体等が自主運行できるよう規制が緩和されたが、移行への条件整理を行う必要がある。 |

今後の方向性(Action)

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 担当課長氏名                       | 藤山 善之  |
| 事業の方向性                       | 【方向性】 現状維持<br>【理由】 比叡コスモス号は、市の運行業務委託の形態をとるもの実質的には比叡地域で支える意識のもとにバス運行をする伊賀市独自の運行システムである。これを地域におけるバス運行方式のひとつのモデルケースとすることができる。 |
| 現時点における課題、その他                | 将来にわたってコスモス号が安全に安定した運行が継続できること。  |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | 地域での自主運行も視野に入れ、引き続き安定した運行運営が行えるよう、昨年度より利用者数を増加させる。   |